

# 会 議 要 旨

1 会 議 名 第8期 北九州市人権施策審議会 第3回会議

2 開催日時 令和4年8月3日(水) 10時00分～12時00分

3 開催場所 大手町ビル(ムーブ)5階 大セミナールーム  
(一部オンライン併用)

4 出席者氏名

(委員) 中島 俊介、大島まな、磯田佳宏、内村尚俊、梅原一浩、  
尾形由起子、小倉知子、河嶋静代、工藤一成、古賀由美子、  
城田泰子、服部祐充子、花岡浩、吉田ゆかり

計14人(敬称略)

(事務局) 人権推進センター所長、教育委員会参事 ほか関係職員

計12人

5 会議の概要

- (1) 新規委員へ辞令書交付(机上配布)
- (2) 人権推進センター所長 あいさつ
- (3) 会長あいさつ
- (4) 新任委員紹介・あいさつ
- (5) 市側出席者の紹介
- (6) 議事

■「北九州市人権行政指針関係事業の概要(令和4年度版)」(案)について■

人権文化推進課長及び教育委員会人権教育・事業調整担当課長、教育委員会学校教育  
教育部学校支援担当課長より、全体の総評と、事前に委員から質問を受けた事業に  
ついて説明。主な質問と回答は次のとおり。

(質問) 民生委員・児童委員が活動しやすくなるような支援の方策は検討されてい  
るか。

(回答) 平成24年3月、「民生委員の負担軽減に向けた研究会」研究報告をま  
とめ、行政から協力依頼する業務の廃止、活動補助金等の増額、福祉協力  
員との連携強化等の取組みを行ってきた。

全国的な課題であるため引き続き、他都市の例も参考にしながら、考え  
てまいりたい。

(質問) 「家庭教育学級」に関し、ウェブ漫画以外にニーズに対応するためにどのような努力をしているのか。

(回答) オンラインの活用(単館だけでなく複数の市民センターでの同時開催)や動画配信、資料配布などコロナ禍において実施できるように工夫し、そのような開催方法について広く情報提供している。

(質問) 生涯学習推進コーディネーターの配置館数がなかなか増えない理由及び配置館の好事例。

(回答) 配置館数が増えない理由は、以下の2点。

- ・地域と市民センターのパイプ役となれるようなスキル・経験を持った人材を探すことが難しいこと。
- ・活動時間及び回数の制約があったことから活動できる人材が限定的であること。(R4 制約見直し)

配置館では、「新たな視点や自由な発想と工夫をもって、市民講座や地域の交流事業の企画立案や運営を担う等、地域における生涯学習活動の活性化に繋がっている」との報告がある。

(質問) 同和問題啓発強調月間について講演会の成果を知りたい。

(回答) 今年度は6館で開催した。有識者による同和問題の基本認識、当事者による被差別体験、また音楽演奏を交えた語り掛け等多様なスタイルで実施した。感染拡大の影響で6館合計230人の参加となったが、参加者からは「講演内容を職場でも伝えていきたい」や「自身の差別意識を自覚した」など、好意的な意見が多数であった。

#### ■いじめについてのご意見■

- ・私立中学校におけるいじめで重大事態に該当するような事案について、窓口を一本化することは出来ないか。
- ・相談事業の一環として市は、どう相談者(いじめ関係者など)に寄り添っていか考えていくことが大切ではないか。

#### ■その他■

- ・不登校生徒への支援事業や、言葉表記の仕方、校則等に関する質問や意見あり。

6 問合せ先 保健福祉局人権推進センター人権文化推進課  
電話 093-562-5010